

『壬生町新庁舎建設基本構想』に対する提言書

平成30年6月

壬生町議会

壬生町議会では、現役場本庁舎の老朽化や狭隘化の進行により、住民が求める良好で良質なサービスの提供はもとより、災害時における防災拠点としての機能・役割を十分に果たせないという現状を踏まえ、新庁舎建設を最重要案件として捉え、全町的な視野に立って、様々な課題の把握と検証を行うとともに、継続的な調査研究を図っていくことを目的として、平成29年9月に議会庁舎建設特別委員会を設置しました。

以来、現在まで6回にわたり当特別委員会を開催し、町執行部からの説明を求めるとともに、外部委員からなる庁舎建設委員会での協議・検討の結果等も踏まえながら、全町的な視点から、事業に対する協議を重ね、議論を深めて参りました。

現在、町執行部においては、新庁舎建設に向けての作業を鋭意進めていますが、今後の円滑かつ適正な事業の推進を促す観点から、基本構想の策定にあたり、町議会として、これまでの協議・議論の結果を以って、ここに提言いたします。

平成30年6月5日

壬生町議会議長 榆井聰



◆ 庁舎の建設について

- 慎重な財政計画の下で、基金を活用しながら、国等における支援制度の有効活用を図るなど、財政的な負担軽減に努めること
- 整備に係る労務・資材費の高騰等にも十分留意しながら、効果的かつ効率的な資源の投資に努めること
- 整備事業の推進にあたり、時間的経費的なロスが生じないよう、適切な進行管理に努めること
- 新庁舎の位置については、利便性や防災拠点機能確保の観点から、庁舎建設委員会等での協議・検討結果を尊重し、総合運動場CDグランドが適当であると判断するが、①現庁舎跡地を活用した活性化策 ②総合運動場CDグランド利用者への不便解消策 ③新庁舎への交通アクセス策等に十分配慮すること

◆ 期待する庁舎の機能・役割について

- 住民の安全・安心の確保を図る観点からも、災害時における防災拠点として、十分な機能が発揮できる施設整備を行うこと
- 良質で安全・安心な住民サービスの提供に資するため、セキュリティ機能の強化を図るとともに、ICT化などのシステム高度化・多様化にも柔軟に対応できる施設整備を行うこと
- 官民協働のまちづくり推進の拠点となるよう、シンボル的な要素も含んだ「集い」の機能が充実した施設整備を行うこと

○住民に開かれた円滑な議会運営に資するよう、十分に考慮した施設整備を行うこと

○新庁舎建設にあたっては、駐車場の確保、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン等の導入など住民の利便性や緑の維持・保全にも十分考慮した上で整備を行うこと

○再生可能エネルギー等の積極的な導入や長期的な視点からのランニングコスト、維持管理費の低減など、十分に配慮すること

○町づくりの拠点となるような庁舎建設、地域活性化の拠点となるような庁舎建設という視点から、周辺エリアを含めた地域振興などに資するよう努めること

◆事業の進め方について

○庁舎建設にあたっては、引き続き、住民、議会、行政が一体となった事業の円滑な推進に努めること

◆その他

○庁舎の移転に伴い発生が懸念される問題・課題等については、その速やかな解決を図るため、町として真摯に対応すること